

## クマから身を守るすべ学ぶ

青森市の青森南高校（久保田千夏校長）は12日、同校で、近年県内で目撃が増えているクマへの対処法を学ぶ防災教室を開いた。参加した1、2年生約360人は、クマに遭遇した際には「走らない・騒がない・刺激しない」といった注意事項を確認した。

クマ対策をテーマにした防災教室を開催するのは初めて。県自然保護課の三浦緋乃技師を講師に招いた。

防災教室で、三浦技師

はツキノワクマの生態や県内の出没状況などを説明。クマに遭遇した場合は▽背を向けずにゆっくりと後退▽静かに立ち去る▽クマ撃退スプレーを使う―などの対処法を紹介した。

久保田校長は「本校には市外から通学する生徒もおり、いつクマに遭遇してもおかしくない。対処法を知っておけば、いざという時に自分の身を自分で守れる」と語った。

（工藤槇子）



クマと遭遇した際の対処法を学んだ防災教室（青森南高校提供）

青 森

青南高

東奥日報 2026年（令和8年）3月22日（日）掲載  
この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。